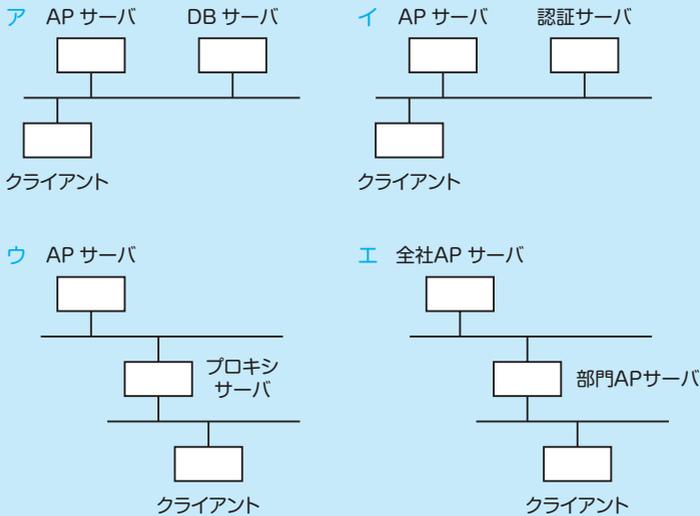


- ア CDMAは、Carrier Sense Multiple Accessの略であり、LANで利用されるアクセス制御方式の一つです。CSMA/CDは有線LANで、CSMA/CAは無線LANで用いられます。
- イ IEEE802.11nは、理論上の最高伝送速度が600Mbpsである無線LANの規格です。IEEE802.11nは、現時点では最新の無線LAN規格です。これ以外の無線LAN規格には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gがあり、いずれもIEEE802.11で始まります。
- ウ IEEE802.3は、CSMA/CDを使う有線LANの規格です。
- エ ISDNは、Integrated Service Digital Networkの略であり、電話・FAX・データ通信を統合したデジタルネットワークです。最近あまり使われなくなりました。

問4  
(AO-H18-S-11)

3層クライアントサーバシステムで、クライアント以外の2層をそれぞれ1台のサーバを使用して実装した場合のシステム構成として、適切なものはどれか。ここで、APはアプリケーションを、DBはデータベースを表す。



3層クライアントサーバシステムは、処理をプレゼンテーション層・ファンクション層・データベースアクセス層の3層に分けるアーキテクチャであり、プレゼンテーション層をクライアントが、ファンクション層をアプリケーションサーバが、データベースアクセス層をデータベースサーバが担当します（データベースアクセス層をデータベース層もしくはデータ層と略している場合もあります）。2層クライアントサーバシステムのサーバ部分を2つに分けたと考えると理解しやすいと思います。

